

〈後援会長あいさつ〉

県議会議員として早くも3年目を迎えております。今春には、新人ながら総務企画委員会副委員長に抜擢されるなど、県政の舞台においてその政治手腕や行動力をしっかり示し、着実に成長を続けております。国政、市政からの取り次ぎ役として頼られることも多く、各メディアも一目置くなど、政治家としての資質は若手の中でも群を抜く存在であります。政治家として、人としてさらに大きくなってもらうためには、引き続いて皆様からの叱咤激励は欠かせません。俵田祐児県議に変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。最後に、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

俵田ゆうじ後援会 会長 富田潤二

総務企画委員会副委員長に就任！



政治家としての師、そして人生の師でもある、大恩ある吹田愷先生が6月に逝去されました。90歳というお歳であっても、弁舌の場ともなれば、オーラは現役時代さながら、発せられる言葉一つ一つに思いが宿り、周囲を聞き入らせる力を持っていました。まだまだ未熟なわたしにとって、政治家としてのさらなる成長を見せることが最大の恩返しと考えており、年始の会合でも、雄弁をふるう壮健なお姿を見ていただけに大変残念でなりません。「ふるさと政治家」と呼ばれ、郷土の発展に情熱を注いだ偉大な吹田先生の足跡はわたしにとっての大きな宝物であり、政治の道を歩む上でこれ以上ないお手本であります。臉に刻み込まれた師の後ろ姿を追って、将来少しでも近づけるように精進を重ねていきたいと考えています。

県議会において、この春、農林水産委員会から総務企画委員会へと所属が変更となり、副委員長にも選出されました。管轄は、産業戦略、岩国基地問題など、県政における最重点課題ばかりで、今まで以上に身が引き締まる思いです。大変な重責ではございますが、郷土の古今をさらに深く知り、県政をさらに学び成長する大きなチャンスと捉えています。毎回お示ししています通り「日々、全力疾走」を貫き、わたし自身が「ふるさと政治家」といわれるように取り組んで参ります。

皆様とのお約束「子育てしやすい」「魅力ある中山間」「中核都市として」「安心・安全」「観光と交流」という五つの「地域づくり」に対して、ご期待に添えるべく一步一步、着実に前進しているという手応えを感じております。

つきましては、地域の問題解決に向けて、何卒、引き続いて皆様からのお声をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。ご意見とともに賜る叱咤激励こそが何よりのエネルギーであり、県政、市政について、今まで以上に皆様から多くのご意見を賜りたいと考えております。皆様の元へと足を運びますので、ぜひ事務所までお気軽にご一報ください。引き続いてのさらなるご支援を心よりお願い申し上げます。

平成29年9月

俵田祐児

